

事務事業名		清掃推進事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	02自然豊かな環境の保全と創造			事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 ☒ 全体計画欄の総投入量を記入
	施策名	05環境の保全と共生				
	基本事業名	03良好な生活環境の確保				
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律			01 04 02 01 01	
所 属	部課名	生活福祉部 市民生活環境課				
	係 名	環境衛生係	電話	27 - 3111		
		内線	124			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施を呼びかけ、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図る。
 市では、道路側溝から引き上げられた汚泥の一時仮置場を確保すると共に、土木業者等に依頼して汚泥運搬車両を各地域に配車している。また、独自で車両を用意した地域に対しても、2台分を限度として1台当たり2,000円を車両借り上げ料として補助している。
 主な業務は、企画、日程調整、汚泥の一時仮置場の確保、車両の借り上げ、手配、開催案内の通知、当日の配車、対応、報告書の徴収、とりまとめ、特殊車両等の借り上げ料、補助金の支払い、汚泥処理依頼先との調整、汚泥の処理。
 事業費は、車両借上料、汚泥処理委託料、一時仮置場の掘削委託料などに支出される。

全体計画(期間限定複数年度のみ)

総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
		事業費計 (A)	0
人件費		正規職員従事人数	
		延べ業務時間	
		人件費計 (B)	0
		トータルコスト(A) + (B)	0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 市民総参加のもと、6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施により、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図った。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 同上		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
		名称	単位
		ア 市の車両借上台数	台
		イ 地域での車両借上台数	台
ウ 実施日数		日	
		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 生活環境(特に道路側溝の汚泥)		カ 地域公民館数	館
		キ 人口	人
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 清掃活動の実施により、生活環境を清潔に保つ。 地域環境保全について市民意識が高まる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 汚泥処理量	t
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 良好な生活環境を確保する。		シ 清掃活動参加数	人
		ス 市内の清掃活動実施地域の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
投入量	事業費 内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	677	880	1,105	774	806	1,317
		事業費計 (A)	千 円	677	880	1,105	774	806	1,317
	人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14	16	18	17
		延べ業務時間	時 間	560	560	280	280	280	560
		人件費計 (B)	千 円	2,240	2,240	1,120	1,120	1,120	2,240
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	2,917	3,120	2,225	1,894	1,926	3,557
活動指標	ア	台	23	23	11	11	25	25	
	イ	台	38	37	29	21	22	18	
	ウ	日	2	2	1	1	1	1	
対象指標	カ	館	133	133	133	133	133		
	キ	人	43,209	42,575	42,158	41,684	41,334	40,537	
	ク								
成果指標	サ	t	32.7	37.6	70	19.4	16.6	37.94	
	シ	人	8,441	8,414	7,988	7,324	7,611	8054	
	ス	%	100	100	100	100	100	100	

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市民総参加による市内の清掃活動を実施することにより、快適で住みよい生活環境を保持し、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を図るため、昭和45年度から開始。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・当初は、側溝の汚泥上げ、草刈りのほか、薬剤散布等も実施していたが、現在は、衛生状態等の生活環境の向上により、薬剤散布を行う地域は減少してきている。

・一斉清掃の際に出る汚泥の一時保管場所が将来埋め立てられる計画になっている。そのため、新たな汚泥捨て場の確保が必要である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

草刈り後の草の処理方法等、清掃活動により発生した廃棄物の処理についての要望が寄せられる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	事業の実施により、生活環境の保持のほか、市民意識の高揚も図られるため、自発的な環境保全活動につながり、良好な生活環境の確保に結び付く。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市が関与しなければ、汚泥や草等の廃棄物の処理が困難なため。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	継続して実施していくことにより、市民意識の高揚が図られ、さらに充実した活動が見込める。また、地域だけでなく、事業所等にも清掃活動の実施を促すことにより、一層の成果の向上が見込める。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由]	市民総参加を呼びかけて実施しているが、全世帯からの参加には至っていない状況である。そのため、徹底した呼びかけと継続した事業の実施により、市民意識の向上を図り、さらに参加者を増やし、事業の成果を向上させる余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容]	事業を廃止した場合、生活環境の清掃活動については地域の自主性に頼らざる得なくなる。また、道路側溝の汚泥処理について大きな成果を挙げている事業であるため、住民の協力が得られなくなる事で、道路維持に係る市の負担が増加する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ☒ 他に手段がない [理由]	住民の実践活動を伴った市民意識の向上を図れる事業が他には無い。
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]	事業費の大半が廃棄物処理に係る費用であり、適正に廃棄物を処理する上で、必要最低限の費用で事業を実施している状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由]	人件費等の効率化を図るため、住民や地元の土木業者にも協力を要請し、平成19年度から1日で実施した。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由]	市内全域を対象とした事業のため、特定の受益者負担は無く、事業費は全て一般財源である。

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市内一斉清掃活動は、昭和45年度から現在に至るまでの成果により、市民に十分浸透した事業である。市民の多くの協力により、生活環境の保全に対し大きな効果を上げているので、今後も継続して事業を実施し、市民の積極的な参加を促していく必要がある。 大きな効果はあがっているが、全世帯からの参加には至っていない状況であるため、参加の呼びかけを充実させる必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 各地域公民館、地域公衆衛生組合長、衛生監視員等の協力を得て事業を運営し、広報や新聞による市民への事業周知を行い、より多くの市民の参加協力を得て、快適な生活環境の保全を図る。	(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 全世帯からの参加には至っていない状況である。 参加の呼びかけの方法に広報大船渡への掲載だけでなく、地元新聞へ記事の掲載を依頼するなどを追加し、充実させる必要がある。																						

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	市民生活環境課長
-------	----------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

全体的な総括は十分に行われており、適切に事業執行されている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統合・連携
☒ 現状維持
- 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

より多くの市民が参加するように取り組んでいく必要があるが、すでに地域公民館、地域公衆衛生組合、衛生監視員の協力を得て実施し、関係者への通知や広報等での参加協力を呼びかけるなどの取り組みは行っており、また、東日本大震災の影響から、地域公民館や地域公衆衛生組合の解散、応急仮設住宅への入居など、地域コミュニティの再構築が課題となっている状況などを考慮すると、当面、現状どおり継続することを基本として事業を実施する。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持		●	×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項